

沖縄科学技術大学院大学に係る周辺整備事業に関する要請決議

沖縄科学技術大学院大学周辺整備基本計画は、沖縄振興特別措置法に基づく「沖縄振興計画」及び「沖縄県科学技術振興指針」を踏まえ、沖縄科学技術大学院大学の立地に伴う周辺整備のあるべき姿を示すものとして、平成19年8月に沖縄県により策定されている。基本計画においては、先導的なプロジェクトとして、沖縄科学技術大学院大学の「ゲート空間」となる村道大袋原線周辺整備、「谷茶の浜」海岸一帯の整備、さらには大学院大学内のビレッジゾーンとの連続性・近傍性を考慮した、商業・サービス機能を補完する施設や住宅、交流施設等を提供する「門前町地区」として検討が行われてきている。

しかしながら、基本計画策定時から十数年が経過する中で、周辺整備事業(谷茶区)においては進捗が見られず、沖縄科学技術大学院大学周辺の居住環境整備や地域の活性化に対する地域住民の期待と現状に乖離が生じている状況である。

これまで、沖縄科学技術大学院大学に関わる事業として、第5研究棟の整備や、今年度に大学院内にインキュベーター施設の整備が行われ、沖縄の自然環境への貢献や、沖縄経済・社会との連携によるイノベーション創出を通じて、沖縄県への貢献と沖縄振興に寄与することが期待されている。

今後も、沖縄科学技術大学院大学の健全な運営を支援し、地域の活性化を促進することと、研究者や関係者、地域住民が快適に暮らせる国際的な居住環境の整備や利便性の向上を図るためにも、周辺整備事業の一層の推進が必要である。

よって、恩納村議会は、下記事項の早期実現を強く要請する。

記

1. 沖縄県において、沖縄科学技術大学院大学周辺整備事業の推進に際し、積極的かつ主体的に取り組むこと。

1. 沖縄県において、沖縄科学技術大学院大学周辺整備事業の推進に際し、関係機関や地域との連携・協力体制の構築に努めること。

以上、決議する。

令和7年 9月26日
沖縄県恩納村議会

宛先 沖縄県知事 玉城デニー 様
沖縄県議会 議長 中川京貴 様

県道104号線改良整備事業の未整備区間にに関する要請決議

本村の主要な広域交通ネットワークは、国道58号、国道58号バイパス、県道6号線、県道104号線が挙げられる。これらの道路は、近隣市町村を結ぶ広域交通ネットワークを形成し、産業経済や村民生活の基盤をなすとともに、災害時には緊急避難路としての重要な役割を担っている。

県道104号線は、恩納村安富祖を起点に金武町金武を終点とする、延長約8kmの一般県道である。一部、金武町から喜瀬武原集落間、5.0kmは直進化が完了しており、国道58号からホテル入口付近までの0.8kmの事業区間にについては平成22年度に改良工事が完了しているが、当初計画されていた事業化予定区間の未整備区間2.0kmの改良整備が平成24年度から進捗が見られない。その間に、中学校の統合、喜瀬武原小学校の休校に伴い児童生徒の通学や新たに令和8年学校法人タイケン学園の開校も予定されている事から交通量の増加が懸念されている。

本村では、3,000室の新規ホテル開発計画が承認されており、本村中北部地域に集中していることから県道104号線の利用者が増えることが予想される。

また、「ツール・ド・おきなわ 2025」の沖縄一周コースで県道104号線を横断することになっており自転車通行においても安全性が求められている。

さらに、台風接近時には倒木による被害も多いことから、見通しの悪い区間において重大事故を招きかねない。

これらを踏まえ、同道路は恩納村・金武町を結ぶ北部地域の重要な横断道路であることから、幅員の狭い区間や線形が厳しい箇所については改良整備が必要である。

よって、恩納村議会は、下記事項の早期実現を強く要請する。

記

県道104号線改良の未整備区間にについて、安全な道路環境の整備を実施すること。
以上、決議する。

令和7年 9月26日
沖縄県恩納村議会

宛先 沖縄県知事 玉城デニー 様
沖縄県議会 議長 中川京貴 様